

全校集会 学校長の話（2025年11月18日）

- おはようございます。きょうは二つの話をします。
- まず一つめ。朝、登校をした際に、正門横に新しい横断幕が設置されていることに気づいた人も多いと思います。
2019年3月に本校を卒業した、勝田成（なる）さんが、先日行われたプロ野球ドラフト会議において、広島カープから見事3位の指名をいただきました。
これを祝して、本校PTAのOBの皆さんである稜和会から、横断幕を二つ作っていただきました。
正門横と、国道に面した南側の門の横に設置しています。
- 先週土曜日に贈呈式を行った際、勝田選手も来られていました。
勝田さんは「自分は野球選手にしては背が低い。でも努力の結果プロ野球選手になれた。北稜中の後輩たちに、夢や希望をあきらめずに努力したら、きっと夢はかなうということを伝えたい」ということだったので、勝田さんに代わって皆さんにお伝えいたします。本当におめでとうございます。
- 次に二つめのお話です。いよいよ明日、文化祭です。
本来なら10月31日に行われるはずだった文化祭が、2回の延期を経て、あす11月19日になりました。
10月31日から数えると、約3週間。そのあいだモチベーションを保ち続けるのは、本当に大変だったと思います。
クラスのみみなでの合唱練習はもちろんですが、準備や係の仕事など、見えにくいところで支えてくれた人もたくさんいます。
- そして、吹奏楽部のみなさん。長い期間、気持ちと体力を切らさずに練習を続けてきたこと、本当にお疲れさまでした。
特に3年生の皆さんは、明日のステージで、この3年間のがんばりがきっと報われると思います。
- 僕の好きな歌のひとつに、泉谷しげるさんの「春夏秋冬」という歌があります。
その中に、こんな歌詞があります。
- 「きょうですべてが終わるさ／きょうですべてが変わる／きょうですべてが報われる／きょうですべてが始まるさ」
- 僕はこの歌詞を、「すべてが終わったときに報われる。でも、それで終わりではなく、新しいことの始まりでもある」という意味だと思っています。
- 明日の文化祭も、まさにそういう一日になるのではないのでしょうか。3年生にとっては、中学校生活最後の文化祭という「一つの終わり」であり、その先の進路や、新しい世界に向かっていく「始まりの日」でもあります。
1・2年生にとっても、これまでの練習や準備が一度「終わる」ことで、次の行事や、来年度の自分たちにつながる「新しいスタート」になるはずですよ。
- 明日の文化祭が、皆さん一人ひとりにとって、「報われる一日」であり、そして同時に、「新しい自分が始まる一日」になってくれることを願っています。
クラスの仲間、部活の仲間と力を合わせて、北稜中らしい、あたたかくて誇らしい文化祭にしていきましょう。
明日の文化祭、心から楽しみにしています。